

HOPE CloudChart II 生成AI機能活用事例のご紹介

～医師が診療に集中するためのAI活用術～

医療分野における 生成AI活用について

2024年から時間外労働時間が年間960時間に制限

医師の働き方改革

医師の長時間労働が大きな課題
タスクシフトを前提とした**医師の長時間労働の規制**へ

医師の働き方改革法案（2024/4～）

医療機関に適用する水準	年の上限時間	面接指導	休息時間の確保
A（一般労働者と同程度）	960時間	義務	努力義務
連携B（医師を派遣する病院）	1,860時間 ※2035年度末 を目標に終了		義務
B（救急医療等）			
C-1（臨床・専門研修）	1,860時間		
C-2（高度技能の修得研修）			

厚生労働省 医師の働き方改革（https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/ishi-hatarakikata_34355.html）

医療現場でのタスクシフトに向けて、**生成AIの活用が急務**

時間外労働事務作業の主な内訳

1. 各種書類作成・ペーパーワーク（最も大きな負担）

・紹介状（診療情報提供書）の作成

地域のクリニックや他病院と連携するための書類。経過や検査結果、処方薬などを詳しく記載する必要があり、最も頻度が高い業務

・退院サマリーの作成

患者が退院する際、入院中の経過や治療内容をまとめた報告書

・各種診断書・証明書の作成

・行政手続き関連の書類

2. 電子カルテ、PC入力作業

3. その他作業

カンファレンス資料作成、レセプト点検（修正）など

2026年4月～ 電子カルテ（HOPE CloudChart II）に組み込んだ 紹介状生成AIを利用開始



Microsoft



FUJITSU

- 世界で実績があるクラウドサービス
- Azure OpenAI※（ChatGPT）等の生成AI
- 電子カルテシステム トップシェア

※Microsoft Azure上でOpenAIの大規模言語モデル（GPTシリーズなど）を利用できる企業向け生成AIサービス

紹介状機能 生成AI

特徴



1. 事前準備・専門知識不要
2. スモールスタート可能
3. 安全性と利便性



特徴



1. 事前準備・専門知識不要

2. スモールスタート可能

3. 安全性と利便性



1. 事前準備・専門知識不要

1 ユーザーの負荷を最小限に

電子カルテとデータ連携済みのため、**自動でデータを抽出し生成AIが要約**

2 誰でも簡単、同じ品質

ユーザー側でプロンプトを入力/修正する手間は不要
利用者だけでなく、管理者にも専門的な生成AI知識は不要

3 電子カルテと親和性の高い操作性

電子カルテ画面内に利用ボタンを配置し、AIを意識することなく操作可能

1 ユーザーの負荷を最小限に

- ・自動生成された生成AI要約結果を確認のうえ、紹介状を作成。
- ・従来負荷の大きい作業であった「データの参照」や「文章作成」業務を自動化。

The screenshot shows a web application for creating introduction letters. It includes fields for the referring department (Internal Medicine), the doctor's name (Dr. Fujitsu), and the patient's information (Name: 家婦性赤芽球ろう・5カ月, Start Date: 2024/12/11). There is a section for the purpose of the introduction (Diagnosis: 診療) and a section for the summary (概要). A red arrow points from the '確定' (Confirm) button to the right, indicating the next step in the process.

The screenshot shows the generated introduction letter document. It contains the patient's information, the doctor's information, and the summary of the patient's condition. A red arrow points from the '確定' button in the previous screenshot to this document, indicating that the document is the result of the automated process.

紹介先の情報の転記

対象期間の診療記録に基づいた紹介文章を生成AIが作成します。

- ・事前にチューニング済みのプロンプトをサービスに組み込んでおり、
利用者は知識や準備、プロンプトの入力作業が不要で、生成AIサービスを利用可能
- ・富士通側でユーザ評価を元にプロンプト調整しているため、**管理者での調整が不要**



サービスが組み込まれた状態。
ユーザー側での調整は不要。

■プロンプトのイメージ

#前提

あなたは医師です。
XXXXXXXXXXXXXXXX

#条件・制約事項

XXXXXXXXXXXXXXXX

#カルテ

XXXXXXXXXXXXXXXX

#命令

[条件]に従って、XXX

- ・紹介状の記載観点ごとに安定した精度が出るよう、
繰り返し検証済みのプロンプトを利用可能
- ・**ハルシネーション（生成AIによる創作）を抑える
チューニングを実施**

厚生労働省の「診療情報の提供に関する指針」および、導入する各病院でのヒアリング結果を基にプロンプトチューニングを実施

【紹介状生成に必要なインプット情報（厚生労働省指針より）】

No	記載事項	記載内容
1	紹介先の医療機関情報	✓ 紹介先の医療機関名、診療科名、担当の医師名
2	紹介年月日	✓ 紹介状を記載した日
3	紹介元の医療機関情報※	✓ 自院の医療機関名や所在地、電話番号
4	紹介元の医師名※	✓ 紹介元の医師の氏名
5	患者の基本情報※	✓ 紹介する患者の氏名、性別、生年月日、年齢、電話番号、職業
6	傷病名※	✓ 主病名（副病名）
7	紹介目的	✓ 紹介した目的
8	既往歴および家族歴※	✓ 既往症/家族歴
9	症状経過および検査結果※	✓ 主訴や身体所見、検査結果などを含めて、診断するまでの経過 ✓ 検査・画像データ添付
10	治療経過※	✓ 治療の経過や症状の改善状況
11	現在の処方※	✓ 現在処方している薬の名称、容量、用法 ✓ アレルギー情報

※電子カルテに保存しているカルテ記載(プログレスノート)や、オーダー情報、検査歴情報などから収集

Fujitsu Confidential



特徴



1. 事前準備・専門知識不要

2. スモールスタート可能

3. 安全性と利便性



2. スモールスタート可能（費用面）

電子カルテ基本契約で初期利用が可能、効果確認後必要に応じて
拡張プランを選択



医療文書自動作成

データから医療文書の下書きを自動作成

初期利用：50回/月
基本サービスで使用可能

紹介状

50回追加：28,000円/月～

初期利用：30回/月
基本サービスで使用可能

退院サマリ

100回追加：80,000円/月～

※無制限利用プランあり

2. スモールスタート可能（利用面）

予約語として設定した箇所にAI生成結果を自動反映するため、
病院で使用している紹介状フォーマットの活用が可能

予約語＝所定位置へ差し込むための「目印」

【紹介目的】

@AUTOREFERRAL1

【現病歴】

@AUTOREFERRAL2

【治療経過】

@AUTOREFERRAL3

紹介状テンプレート (word)

【紹介目的】

右人工股関節置換術後の経過観察
のため紹介します。

【現病歴】

患者は以前・・

【治療経過】

2026年5月より・・

生成AI実施後

特徴



1. 事前準備・専門知識不要

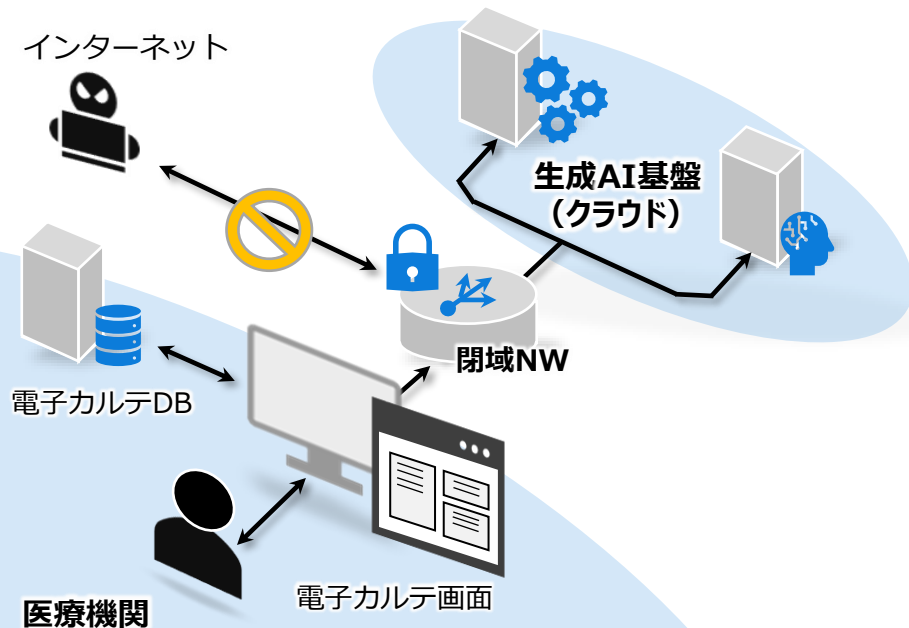
2. スモールスタート可能

3. 安全性と利便性



3. 安全性と利便性（安全性）

- ・閉域網を利用しているため安全に利用できる（個人情報安全担保）
- ・電子カルテデータは生成AIの学習に利用されず、患者情報や治療内容がクラウド上に保存されないシステム構成



- ・専用回線を介した閉域ネットワークにより、**外部からのアクセスを受け付けないクラウド環境**
- ・API連携により、**診療情報がクラウドで保存されないシステム構成を実現**
（第三者への情報提供や患者同意が不要）
- ・ISMAP※1認証取得済のAzure OpenAIを用いて文章生成
- ・3省2ガイドライン※2に準拠したサービス構成

※1 Information system Security Management and Assessment Program
政府が求めるセキュリティ要求を満たしているクラウドサービス

※2 厚生労働省、総務省、経済産業省の3省が策定する、医療情報を安全に管理するためのガイドライン

3. 安全性と利便性（利便性）

紹介状作成において**7割以上**の時間削減効果

従来の1患者当たりの紹介状作成時間：**20分**



生成AI

データ参照、作成



医師

確認・修正

従来

平均**20分**

サービス
利用後

平均**5分**

生成AIにより削減（15分）

1患者あたりの
紹介状作成時間を

75%削減

生成AI機能を利用後 当院の業務変化、評価

Before~After



※「AI紹介状」利用前後の診療の様子（生成AIによるイメージ画像）

紹介状に**必要な情報が網羅**されており、人手で補正や抜粋が必要な部分はあるが
出力結果の精度は高い

●評価結果

(1) 網羅性	• 必要な情報が網羅されているため、情報不足による加筆は基本必要ない • 不要な部分の削除を必要とするケースはあるが、よくできていると感じている
(2) 精度	• 出力された内容の確認は必要と感じるが、精度は高く問題ないと感じている • 文章の体裁が整っているため、誤りがあった場合に見つけにくいかもしれない
(3) その他	• 文面が非常に丁寧でよい • 基となる診療記録の正確さや情報量が、出力される文章の内容に影響する
(4) 効果	• 診療記録が多い患者ほど、紹介状作成にかかる時間の削減効果は大きい • サマリの作成、院内の引継ぎなど、患者の情報・診療経過を整理・共有する機会でも有用な機能と感じている

電子カルテ×生成AI 今後の展開と期待

富士通の電子カルテ生成AIへの取り組み



第一弾

医療文書自動作成

データから医療文書の
下書きを自動作成



紹介状

退院サマリ

2nd
step

看護師サポート

職員の多くを占める
看護師の時間外勤務削減



看護申し送り/情報収集

看護サマリ

3rd
step

病院収益貢献

経営に直結する業務を
生成AIでご支援



症状詳記

DPCコーディング

病院経営支援

AIによる集患/稼働率向上
をご支援



ベッドコントロール

返書作成

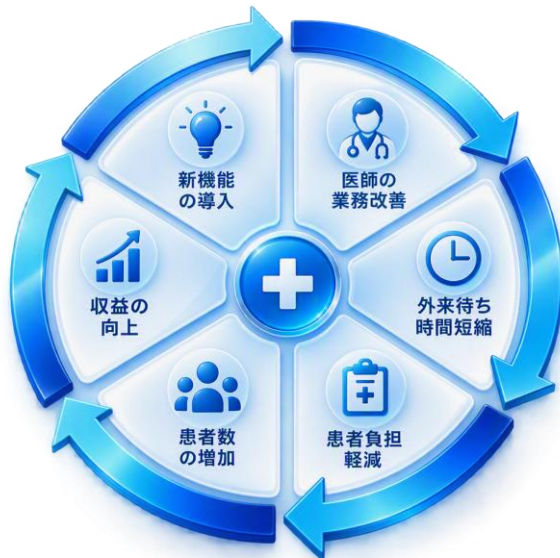
提供済機能

検討中

更に医師が診療に集中するためのAI活用術として、、、

「音声AI機能」を用いた診療記録作成

診察や患者説明時の会話内容を自動で電子カルテに記載



一緒に次のステップへ進めることを期待しております！



FUJITSU